

家畜衛生情報

香 川 県 畜 産 課
 TEL (087) 832-3426~8 FAX (087) 806-0204
 香 川 県 東 部 家 畜 保 健 衛 生 所
 TEL (087) 898-1121 FAX (087) 898-9558
 香 川 県 西 部 家 畜 保 健 衛 生 所
 TEL (0877) 62-0020 FAX (0877) 62-3299

令和6年度畜産施策の概要

本県の畜産の振興に格別のご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

また、本年2月に県内で発生した鳥インフルエンザでは、関係各位のご協力による円滑な防疫対応により、今年3月2日午前0時をもって移動制限が解除となり、全ての防疫作業を終了することができました。改めて、ご尽力いただきました皆様に厚くお礼を申し上げます。

家畜衛生分野においては、鳥インフルエンザが県内養鶏場で、令和4年度、5年度と2シーズン連続で発生し、地域の養鶏業界に大きな影響がありました。また、豚熱は県内の野生イノシシで感染が広がっており、県内養豚場での発生が懸念されています。さらにアフリカ豚熱や口蹄疫は、中国韓国を含むアジア地域に広く浸潤しており、特にアフリカ豚熱は、韓国南部での発生で、国内侵入リスクがかつてないほどに高まっています。

このような状況の中、県では今年度も引き続き、発生を想定した防疫演習の実施や防疫資材の備蓄等を実施し、発生予防対策及びまん延防止対策を迅速に実施する体制を強化します。特に鳥インフルエンザ対策は、養鶏場への立入検査による指導を強化し、本県での発生リスクを最大限に低下させられるよう、努めてまいります。

畜産農家の皆様も、引き続き飼養衛生管理基準の遵守と早期の異常通報を徹底し、家畜伝染病の発生予防、まん延防止に努めていただきますようお願いいたします。

一方、安定した畜産経営継続のため、畜産物の高品質化や増産等による経営体質の強化が必要と考えております。県では、国が行う経営安定対策事業に係る支援を行うとともに、畜産クラスター事業等の活用による収益力の向上等を図ってまいります。その他、県内の畜産農家の持続可能な畜産経営を構築するため、スマート畜産機器などの導入を支援します。オリーブ牛については、出荷頭数の増加や高品質化の取組みとして、牛舎等の増改築や高能力な繁殖雌牛の導入を支援するとともに、今年度から全国和牛能力共進会(令和9年度北海道開催)に出品するオリーブ牛の選定候補牛の品質底上げにも取り組んでまいります。畜産物の流通面の支援として、消費拡大・販売促進のための効果的な情報発信に加え、オリーブ牛の輸出拡大に取り組んでまいります。

今年度も生産者の皆様や関係団体等と連携して、家畜防疫体制、生産基盤の強化や畜産物の販売促進・消費拡大などの各施策を総合的に推進してまいります。

家畜伝染病・伝染性疾病発生状況 (近県)

疾病名	畜種	発生場所	発生時期	発生延べ戸数	発生頭羽数(蜜蜂は群数)
高病原性鳥インフルエンザ(法定)	鶏	山口県	R6.1	2	5
牛伝染性鼻気管炎(届出)	牛	鳥取県、岡山県	R5.11、R6.1	3	15
牛伝染性リンパ腫(届出) (旧:牛白血病)	牛	兵庫県、鳥取県、島根県、岡山県、 広島県、山口県、徳島県、香川県、 愛媛県	R5.11~R6.1	94	119
破傷風(届出)	牛	山口県、愛媛県	R5.11、R6.1	2	2
豚丹毒(届出)	豚	島根県、広島県、徳島県、香川県	R5.11~R6.1	10	45
レプトスピラ症(届出)	犬	兵庫県、岡山県、高知県	R5.11、R6.1	3	3
サルモネラ症(届出)	牛	兵庫県、鳥取県、岡山県	R5.11~R6.1	4	7
サルモネラ症(届出)	豚	徳島県、愛媛県、高知県	R5.11~R6.1	5	7
ネオスポラ症(届出)	牛	兵庫県	R6.1	1	1
鶏伝染性気管支炎(届出)	鶏	徳島県、愛媛県	R5.12	2	24
伝染性ファブリキウス嚢病(届出)	鶏	鳥取県	R5.12	1	32
マレック症(届出)	鶏	愛媛県	R5.11	1	3
アカリランダニ症(届出)	蜜蜂	兵庫県、鳥取県、島根県、岡山県、 広島県、山口県、香川県	R5.11~R6.1	13	14

令和6年度からの死亡牛 BSE 検査にかかる補助内容が変更されます

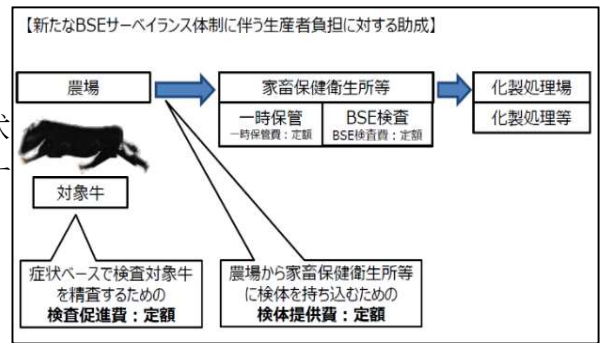
○新規に「検査促進費(定額:6,000円/頭)」を補助

BSE 検査が必要かどうかを獣医師が判断するため、死亡した牛が生前に BSE の特定症状や起立不能の症状を呈していたか等の情報を、飼育者が獣医師へ提供する負担に対する補助です。

○「輸送促進費」は「検体提供費(定額:6,000円/頭)」へ

○「適正処理経費」は廃止

○「管理促進費」は(定額:600円/頭)から(定額:1,780円/頭)へ



農林水産省作成の図を加工

補助対象 事業期間	BSE 検査要否判断への 情報提供	一時保管施設への 輸送	死亡牛の 化製処理	結果判明までの一時 保管
令和5年度まで	なし	* 輸送促進費 3,000円/頭	* 適正処理経費 7,500円/頭	管理促進費 600円/頭
令和6年度から	検査促進費 6,000円/頭	検体提供費 6,000円/頭	廃止	管理促進費 1,780円/頭

*24ヶ月齢以上の場合

なお前号でもお知らせしましたが、令和6年4月から BSE 検査の対象となるのは、「全月齢の特定症状(※1)を呈する牛」、「全月齢の特定症状以外の BSE が否定できない症状(※2)を呈する牛」です。BSE 検査が必要かどうかは、診察している獣医師が判断します。

※1 興奮しやすい、音・光に対する過敏な反応等の神経・行動異常

※2 犬座姿勢、異常歩様、起立不能等の非特異的な臨床症状が見られるもの(感染症、代謝性、外傷性等の一般的な理由で説明できるものを除く)

令和5年度の野生イノシシの CSF(豚熱), ASF(アフリカ豚熱)検査状況について

日本での豚の CSF は、平成30年に発生以降、令和6年3月25日まで、20都県、計90事例確認されており、約37万頭が殺処分されています。また、豚の ASF は日本では発生は確認されていませんが、平成30年以降、アジア各地において発生が確認されており、特に韓国では40事例報告され、日本への空路、海路がある釜山で令和5年12月以降に野生イノシシの ASF が散見されており、国内への侵入を防ぐための水際対策が重要となります。

これらの正確な感染状況の把握のため、国内の野生イノシシの捕獲・検査を強化しており、本県においても、野生いのししの CSF、ASF の感染確認検査(PCR 検査)を実施しています。令和5年度の検査実績は野生いのしし502頭の検査を実施しており、CSF は48頭が陽性であり、ASF は全頭陰性でした。県内において、豚での CSF は確認されていませんが、野生イノシシにおいては、陽性数の増加、陽性が確認された地域の広がりが確認されており、今後も一層の対策が必要となります。畜産農家の方は、飼養衛生管理を徹底いただくとともに、早期発見のために毎日しっかり観察していただくようお願いします。

R5シーズンの高病原性鳥インフルエンザ発生状況について

R5シーズンの高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)は、11月25日に佐賀県で初めて確認された後、3月までに計9県10事例の発生があり、約79万羽が殺処分されました。分離ウイルスは9事例がH5N1亜型で、1事例のみH5N6亜型でした。疫学調査の結果、全事例で農場近辺に野鳥等の存在が確認されています。また、2、4例目の農場はR4シーズンにも発生しており、当該農場やその周辺地域はHPAIの発生する環境要因が揃っていると推察され、より徹底した対策が必要と考えられます。本県においても数年来発生が継続しており、来シーズン前までに改めて鶏舎環境整備や野鳥飛来防止対策など飼養衛生管理基準遵守の取り組みをお願いします。

R5シーズンのHPAI発生状況

事例	県	発生日	鶏種	羽数	型別	主な野鳥、野生動物生息状況
1	佐賀	R5.11.25	採卵	4.0万	H5N1	農場から100mの川氈類約670羽、農場内にヒヨ、イナ、鶏舎内にスズメ
2	茨城	R5.11.27	採卵	7.2万	H5N1	農場から600mのため池氈類34羽、1.2kmの有機肥料工場で多数のヒヨ、カラス
3	埼玉	R5.11.30	採卵	4.5万	H5N1	農場から300mのため池氈類10数羽
4	鹿児島	R5.12.3	採卵	2.3万	H5N1	近くの水田でツル240羽、氈類1,100羽、農場内にカラス、小鳥等
5	群馬	R6.1.1	採卵	36.0万	H5N1	農場内でキツネ足跡、カラス、セキレイ
6	岐阜	R6.1.5	肉用	5.0万	H5N1	農場から100mのため池カガモ11羽、マガモ6羽、農場内にヒヨ、イナ等
7	山口	R6.1.27	採卵	23	H5N1	農場横ため池カガモ、アマガモ、農場内にスズメ、カラス
8	香川	R6.2.6	採卵	11.0万	H5N1	農場から760mのため池氈類56羽、1.2kmのため池氈類58羽、農場内にカラス
9	鹿児島	R6.2.11	肉用	1.3万	H5N6	農場内にヒヨ、イナ、カラス
10	広島	R6.3.12	採卵	8.0万	H5N1	農場内にヒヨ、イナ等、鶏舎内にカラス、スズメ

令和6年4月15日開催：家畜衛生主任者会議資料より

令和6年度 香川県畜産課関係組織体制

畜産課	東部家畜保健衛生所	西部家畜保健衛生所	畜産試験場
課長 大谷徳寿 副課長 石塚博文 家畜防疫主幹 大西美弥	所長 泉川康弘 次長(兼)家畜防疫主幹 田淵賢治	所長 中嶋哲治 家畜防疫主幹(兼)西讃支所長 川田建二	所長 高橋茂隆 次長 高橋和裕
【総務・経営グループ】 副主幹 久保孝代 副主幹 三好里美 主任主事 渡邊 優 技師 久米川大知	【庶務課】 課長 平池直子 主任 大井 学 会計年度任用 佐藤直子 会計年度任用 谷川沙織	【庶務課】 課長 森崎伸基 副主幹 片岡義彦 主任 岡 みどり	【総務課】 課長 東原早苗 主任 奴賀映子 主任 小笠原 均
【生産流通グループ】 課長補佐 矢野敦史 副主幹 瀬尾泰隆 主任 坂下奈津美 主任 土佐 進 主任主事 松坂 翼 技師 大川真実	【衛生指導課】 課長 田中宏一 主任技師 中嶋亜威	【衛生指導課】 課長 向阪優雅 副主幹 寺嶋昌宏	(大家畜・飼料研究課)課長 渡邊朋子 【酪農・肉牛担当】 主席研究員 谷原礼諭 【酪農担当】 副主幹 東谷 隆 主任研究員 田中勝啓 主任技師 井手上奈央
【衛生環境グループ】 課長補佐(総括) 山本英次 副主幹 宮本純子 副主幹 森西恵子 主任 傍示 和 主任主事 加藤海渡	【防疫課】 課長 澁市さつき 主任 北所万貴子 会計年度任用 香川正樹	【防疫課】 課長 森田えり 副主幹 片山進亮 主任 笹田裕司 技師 岡 和奈	【肉牛担当】 副主幹 谷川幸治 主任研究員 三百田 匡 主任研究員 笹田布佐子
	【病性鑑定室】 室長 上村圭一 主任研究員 山川雅史 主任研究員 増川慶大 主任研究員 中津弥乃梨 主任研究員 野崎宏 主任技師 四宮有果	【西讃支所】 副主幹 松元良祐 副主幹 萱原由美 主任 久保貴士 主任 岩佐省三 会計年度任用 光野貴文	【飼料環境担当】 主任研究員 藤井耕児 主任 植田政廣 主任 香川勇人 主任 三谷英嗣
	【小豆総合事務所 家畜保健衛生室】 (小豆支所) 室長 山下洋治 会計年度任用 明田由加里 会計年度任用 赤岩和美		(中小家畜部門)課長 三谷英嗣 【養豚担当】 主席研究員 上村知子 副主幹 瀧井映久 主任研究員 豊嶋 愛 主任研究員 上原 力 主任 三宅浩二
			【養鶏担当】 主任研究員 原 基 主任 岡山正信 技師 杉山龍優

お知らせ

○令和6年度の各飼養衛生管理者研修会について

養牛研修会	8月 8日(木)14時～16時	高松国分寺ホール
養豚研修会	6月 7日(金)13時30分～16時	JA綾坂農業振興センター
養鶏研修会	7月 25日(木)14時～16時	アイレックス小ホール

○令和6年度香川県家畜人工授精師養成講習会について

7月31日(水)～9月4日(水) 学科・実習(最終日に修業試験)

※詳細は5月上旬に県のHPにて掲載